

前回指摘事項（地下水等での検出状況）

1. 1,4-ジオキサンの検出状況について

厚生労働省及び大阪府、東京都より公表がなされている資料をもとに、地下水を原水とした浄水場に関する、1,4-ジオキサンの検出状況を整理した。

1 - 1 . 厚生労働省による調査

出典 の調査では、1,4-ジオキサンが検出された 63 地点の平均値で 4.941 µg/L であった。また、出典 、 の調査では、評価値超過数は 0 件、10%値超過数は 1 件であった。

評価値 (µg/L)	定量 下限値 (µg/L)	検出地点数/ 測定地点数	検出範囲 (µg/L)		評価値超過		10%値超過		出典
			最小値	最大値	検出数	割合 (%)	検出数	割合 (%)	
40	0.05	63/68	4.941 (平均値) ¹		-		²		
	0.05	7/11	ND	1.77	0	0	0	0	
	0.05	22/29	ND	5.22	0	0	1	0	

(出典)

：水道における化学物質の毒性、挙動及び低減化に関する研究（平成 11 年）

：水道水源水域等における親水性難分解有害化学物質の動態と水道リスクの評価ならびに制御に関する研究（平成 13 年）

：水道水源水域等における親水性難分解有害化学物質の動態と水道リスクの評価ならびに制御に関する研究（平成 14 年）

1 1,4-ジオキサンが検出された 63 地点の平均値である。

2 は、各検体の濃度が明らかにされておらず平均値のみのため、算出できないことを示す。

1 - 2 . 大阪府・東京都による調査

大阪府及び東京都は、地下水を原水とした浄水場に関する 1,4-ジオキサンの実態調査を行い、30 µg/L を超えた浄水場を公表している。

大阪府が平成 14 年度に府内 4 浄水場の調査をした結果、2 浄水場の原水（3 井戸）において、それぞれ 259 µg/L、93 µg/L 及び 820 µg/L の 1,4-ジオキサンが検出された。

また、東京都が平成 14 年度に地下水を原水とした多摩地区の小規模 48 浄水場を調査した結果、2 浄水場の浄水において 36 µg/L 及び 38 µg/L の 1,4-ジオキサンが検出された。

2. ベンゼン、トルエン及びキシレンの検出状況

環境省では、一部のプレミアム（ハイオク）ガソリンにオクタン価向上剤として添加されるMTBE（メチル・ターシャリー・ブチルエーテル）の地下水中における存在状況を把握するため、平成12年度に全国のガソリンスタンド周辺196地点の地下水調査を実施した。

MTBEと併せてベンゼン、トルエン、キシレンについても同時に分析した結果、それぞれの濃度は環境基準値や要監視項目の指針値を大きく下回っていた。各項目の検出状況は下表のとおりである。

物質名	定量下限値 ($\mu\text{g/L}$)	検出検体数/ 測定検体数	最大値 ($\mu\text{g/L}$)	(参考)基準値等 ($\mu\text{g/L}$)	
ベンゼン	0.01	20/196	0.17	10	環境基準値
トルエン	0.03	28/196	0.83	600	指針値
キシレン	0.03	19/196	0.59	400	指針値